

生涯教育研修会報告書

血液研究班(事業部・学術部)

学発番号 11-002

平成 23 年 5 月 25 日

報告者

所属 京都大学医学部附属病院

氏名 中西 加代子

連絡先 075-751-3484

会員番号 264668

行事名:血液講演会

日時:平成 23 年 5 月 21 日土曜日 14:00~17:00

会場:キャンパスプラザ京都

講演1:Case study 12

講師1:小川 和哉(ファルコバイオシステムズ総合研究所)

講演2:形態の見方・考え方(FAB 分類から新 WHO 分類を用いた症例の考え方)

講師2:根来 利次(独立行政法人 りんくう総合医療センター)

分類:専門一検体検査-20

全体参加人数:47 人

会員参加人数:35 人

以下、講演内容など

Case study 12 では、ファルコバイオシステムズ総合研究所の小川和哉氏により、MCLの白血化の症例が提示された。血算データ、生化学データに大きな変動がなく、末梢血に出現している腫瘍細胞も、比較的小型で、血液像を注意深く観察しないと、見落としてしまう危険性のある症例で、形態観察の重要性を再認識されるお話であった。

独立行政法人 りんくう総合医療センターの根来利次先生には、形態の見方・考え方(FAB 分類から新 WHO 分類を用いた症例の考え方)として、形態観察の基本を詳しく、説明していただき、形態の標準化にもつながるお話をしていただいた。また、実際の症例も提示していただき、FAB 分類と、WHO 分類を用いた場合の、診断名の違いを分かりやすく解説していただいた。大変勉強になり、とても有意義な、講演会であった。

協賛シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社